



R5,5月 NO.1 認定こども園若草幼稚園・若草ベビールーム

こんにちは！ 若草幼稚園です！

こんにちは。認定こども若草幼稚園・若草ベビールームです。今年も元気な子ども達を迎え賑やかに新年度がスタートしました！

先日は若草春の恒例！？年長さんが園内のすくすく畑で「たけのご掘り」をしました。大きなたけのこを見つけると大喜び！グループの友達と一緒にたけのこを掘り出しました。採りたてのたけのこをじ〜っくりと眺め絵を描いたあとは、みんなで皮をむきました。ざらざらの茶色の皮をむくと中からおいしそうなたけのこ出現！においを嗅いだり、触ったりして採りたてのたけのこを感じていました。翌日にはクッキング！感染予防のため、近年は子ども達が直接食材に触れることはお休みにして、子ども達の目の前で職員がクッキングしていましたが、今年は子ども達自身が包丁を持ってのクッキング復活！慎重に、真剣に包丁を握っていましたよ。出来上がったたけのこは年中さん、年少さんにもお裾分け。「すくすく畑で採ったたけのこです。年長が料理しました！」と、年中・年少さんの保育室に届けると、年長さんへの憧れの目🌟年長パワーの詰まった特別なたけのこをおいそうに食べる子ども達でした。年長さんにとっても幼稚園の最高学年としての自信・自覚につながる一場面となったと思います。そして自然の恵みに感謝し、季節を感じ、旬を味わう時間になりました。



話は変わりますが先日、前園長の紹介で「弁当の日」の映画を観る機会がありました。「弁当の日」の取り組み、ご存じですか？私もこの映画で知り、とても感銘を受けました。タイトルを見た時には、「子ども達に愛情をこめてお弁当を作ってあげよう・・・」そんな内容かな・・・と思ったのですが、実際に見てみると子どもが自らお弁当を作る取り組みでした。何を作るかも、買い出しも、調理も片付けも子どもがします。この取り組みを通じて、子ども達は感謝の心を知り、自己肯定感が育まれていきます。成功や失敗からたくさんのことを学び、生きる力を身につけていきます。大人は見守る大切さを知り、子どもを信じて任せることを学び、子育てが楽しくなります。そして、家族団らんが増え、家庭に笑顔があふれるようになります。

年長さんぐらいの男の子が家族の味噌汁を作るシーンがありました。味噌汁づくりに1時間半もかけて・・・お母さんは口も手も出したいところを我慢して見守ります。1か月後には段取りも良くなり、お母さんも安心して任せられるようになっていました。家族に感謝され男の子も嬉しそう。

自分の家族との時間を振り返った私は大反省・・・😓早速、土曜の夜ご飯は子ども達に任せる「プロジェクトD」（Dは我が家の頭文字です）に取り組んでます。兄弟であれこれ相談しながら作る姿がほほえましく、みんなに「ありがとう」と言われ満足げな子ども達を見ると私も幸せな気持ちになります。

若草のクッキングの経験も、「食」への関心の広がりに加え、先を見通す力がついたり、人のために主体的に動くこと、感謝の思い・・・など。たくさんの「生きる力」に繋がっていると思います。